

みんなでつくる！人権尊重のまち

10月26日・27日、宮前隣保館で「第32回 熱と光の解放文化祭」、12月8日に西伯文化会館で「第20回 西伯文化会館解放まつり」が開催され、人権標語の表彰式や人権作文の発表、講演会やコンサートなどが行われ、多くの人でにぎわいました。

昨年度の内閣府人権擁護に関する世論調査によると、「同和問題に関して現在、どのような問題が起きているか」と言う問いに対し、「結婚問題で周囲の反対を受けること」を挙げた人の割合が(37.3%)と最も多く、「身元調査をされること」(27.8%)、「差別的な言動をされること」(24.9%)「就職・職場で不利な扱いを受けること」(23.2%)と回答しています。同和問題をはじめ、あらゆる差別を解決し、子どもたちの明るい未来をつくりましょう。



ミカエルのイラスト入り風船が大人気！

平成25年度 人権標語表彰者

■ 会見地区 小学生の部

◎ 最優秀賞

「気がついて 自分は一人じゃないことを」

会見小6年 高橋 玲奈さん

○ 優秀賞

「人権は 誰もが持つてる 幸せの種」

会見小6年 遠藤 風沙さん

「本当に大丈夫？ よく見ると

いろんな問題 見えてくる」

会見第二小5年 荒金 歩武さん

■ 中学生の部

◎ 最優秀賞

「差別なし」 みんなで増やそう

南部中1年 廣戸 希望さん

「やめだやめ 差別はやめだ

○ 優秀賞

「やめだやめ 差別はやめだ

南部中2年 押田 秀さん

「『ありがとう』 笑顔の花が

また1つ咲く」

南部中3年 尾見 初音さん

■ 一般の部

◎ 最優秀賞

「気づく知る 差別をなくす 第一歩」

山本 真二さん

○ 優秀賞

「寄り添えば 何をすべきか

見えてくる」

「『他人事』 そう思う心が 差別です」

角 裕史さん

■ 西伯地区 小学生の部

◎ 最優秀賞

「『どうしたの』 その一言で 救われる」

西伯小6年 中野 七海さん

○ 優秀賞

「生まれ持つ 優しさこそが 人権だ」

西伯小6年 門脇 直太さん

「人の気持ち 考えてみれば

変えられる」

西伯小6年 都田 月菜さん

■ 中学生の部

◎ 最優秀賞

「小さな気遣いから 大きな絆へ」

法勝寺中2年 関 望さん

○ 優秀賞

「やさしさは みんなのこころ

つなぎます」

法勝寺中1年 足立 友さん

「あなたには あなたにしかない

花がある」

法勝寺中1年 持田 珠里さん

■ 一般の部

◎ 最優秀賞

「まず一歩！ 踏み出す勇気 私から

服部 留美さん

「不合理に一瞬ひるむ我がいて

その度思うがんばれ！自分!!」

加藤 香澄さん

「『人のために』と 言える人こそ

自分を磨いているんだね」

大下 真史さん

